

島村信義氏コレクションの寄贈



須恵器台付裝飾壺 (左)ご寄贈の須恵器 (右)本館蔵の須恵器

島村信義氏は、これまで長年かけて収集していた須恵器を中心としたコレクションを、岡山県立博物館に平成11年2月21日付で一括して寄贈して下さいました。多様な須恵器の多くの形式を含み、長年かけて収集された努力のあとがうかがわれます。

中でも写真に示す台付裝飾須恵器壺は長船町内遺跡出土とされるもので、岡山県立博物館のものと同じ時代、同一遺跡、同一作者のものと思われる貴重な資料も含まれています。これに関しては何十年ぶりかで、わが博物館で再会を果たしたものではないかと思えます。須恵器の他に縄文式土器、猿投窯皿、古代瓦、中世珠洲窯の壺、郷土美作刀も含まれるなど総計37点にも及びます。今後は機会を設けてこれらの貴重な資料を公開し、役立てていきたいと考えております。

〈寄贈資料目録〉

須恵器台付裝飾壺	2点
須恵器長頸壺	5点
須恵器壺	1点
須恵器俵壺	1点
須恵器平瓶	1点
須恵器環形壺	1点
須恵器台付碗	1点
須恵器葉壺	2点
須恵器皿	3点
須恵器蓋杯	1点
須恵器小形俵壺	1点
須恵器小皿	1点
須恵器扁壺	1点
寒風須恵器陶片	一括
新羅脚付壺	1点
軒丸瓦	3点
軒平瓦	1点
丸瓦	1点
平瓦	1点
磚	1点
珠洲焼壺	1点
縄文式土器	2点
陣笠	1点
脇差 薩州住正近 元文五年二月日	1口
刀 作陽士運壽齊正利	1口
変塗鞘刀拵	1口

[平成10年度事業報告]

特別展

歴史を彩るひとびと
—近世岡山の文化—

平成10年10月24日～11月23日

この展覧会は、岡山県が生んだ、あるいは岡山県内で活躍した歴史上の人物を3年計画で取り上げ、関係資料を通して、その人物像や業績を紹介しようとしたもので、平成8年度に古代・中世の人々、9年度には江戸時代の大名やその家臣を取り上げた。3年目の最後の年にあたる平成10年度は、江戸時代の人々のうち、儒学者・国学者・医学者・洋学者・画家・宗教家・事業家・工芸家などをまとめて紹介した。なお、会期中の10月31日には、岡山大学名誉教授中山沃氏による「緒方洪庵と難波抱節」と題する講演会を開催した。

主な展示資料

(○印は県指定重要文化財)

1. 儒学者・漢学者・漢詩人

西山拙斎画像	田中索峨筆	個人
松鶴図	黒田綾山筆	岡山県立歴史博物館
西山処士之碑拓影	柴野栗山撰	岡山県立歴史博物館
欽塾塾生肄業程課	岡山県立鴨方高等学校	
丸川松隠書幅		新見美術館
丸川先生朱夫子治家格言帖		個人
武元君立画像		吉永町美術館
武元君立書幅		個人
武元君立著	勸農策	閑谷学校



宇田川榕庵 おらんだかるた 津山洋学資料館



本館学芸員による展示解説

関籐藤陰画像	笠岡市立金浦小学校
蝦夷探索図絵	福山誠之館同窓会
関籐藤陰書幅	個人
関籐藤陰書「茅原瓜田」	個人
犬飼松窓画像	個人
犬飼松窓書幅	個人
犬飼松窓雅印	倉敷市教育委員会
阪谷朗廬画像	興譲館高等学校
興譲館扁額	興譲館高等学校
武元登々庵画像	大西圭斎筆
武元登々庵画像	仙厓筆
武元登々庵書幅	吉永町美術館
	備前市 実相院
	閑谷学校

2. 国学者・歌人・俳人

藤井高尚画像	個人
藤井高尚筆面壁之図	個人
正宗直胤画像	藤井高尚賛
業合大枝入門誓詞	正宗文庫
古道学助教授状	個人
業合大枝著	神代紀新積
敬業館扁額	笠岡市立笠岡小学校
版本 檜園集	個人
版本 備中国名勝図会	笠岡市教育委員会
平賀元義画像	個人
平賀元義四季歌屏風	個人
大原草庵之図	澄月賛
西行銀猫図	西山楠亭筆
澄月和歌懐紙	澄月賛
移山亭之庭図	黒田綾山筆
小野務画像	澄月賛
歌道入門願書	川田甕江筆
松原三穂子書簡	岸本周造宛
鹿之図	古市金峨筆
松原三穂子歌集	松原三穂子賛
井上素堂画像	宇野蘭溪筆
井上可堂画像	個人
篆書額字	個人
版本 漢篆千字文	個人
佐々木松後画像	個人
森々庵筆川舟之図	個人
佐々木松後俳句短冊	個人

3. 宗教家

寂庵画像	倉敷市	宝島寺
○寂庵遺言状	倉敷市	宝島寺
○通信使宛書状案文	倉敷市	宝島寺



古川古松軒 懐中地理誌

大忍国仙頂相
 国仙置文
 良寛書幅 七言絶句
 書卷 良寛筆
 良寛和歌 妹みか画
 竺道契画像
 竺道契自画賛条幅
 黒住宗忠画像
 訓戒御七ヶ条
 黒住宗忠使用机・硯
 天地書附
 唐箕(金光大神直筆有)
 御本社畧図(複製)

倉敷市 円通寺
 倉敷市 長連寺
 東京国立博物館
 東京国立博物館
 倉敷市 円通寺
 鏡野町 円通寺
 鏡野町 円通寺
 黒住教本部
 黒住教本部
 黒住教本部
 金光図書館
 金光図書館
 金光図書館

4. 医学者

緒方洪庵画像 個人
 適塾姓名録 日本学士院
 緒方洪庵所用薬箱 適塾記念会
 病学通論 緒方洪庵訳 岡山大学附属図書館鹿田分館
 石井宗謙書状 山口市歴史民俗資料館
 杉生革斎画像 個人
 家事筆記(杉生革斎日記) 個人
 山田成器画像 個人
 難波抱節画像(模本) 個人
 難波抱節書幅 個人
 胎産新書 難波抱節著 岡山市立中央図書館
 古谷道庵日記 山口県豊浦町教育委員会

5. 洋学者

宇田川玄随肖像并識語 岡山県立博物館
 西説内科撰要 岡山大学附属図書館鹿田分館
 おらんだかるた 津山洋学資料館
 葉筆筒 個人
 杉田玄白書簡 個人
 解體新書 個人
 泰西名医彙講 岡山大学附属図書館鹿田分館
 箕作阮甫書簡 津山洋学資料館
 ペルリ提督浦賀来航見聞報告絵図 個人

6. 事業家

河本立軒画像 岡山市立中央図書館
 河本立軒作彩色備前玉香盒 岡山県立博物館
 一条忠良筆「経誼堂」 岡山市立中央図書館
 経誼堂蔵書 岡山市立中央図書館
 徳山敬猛画像 個人
 教諭任免書 個人

農家子孫養育草 個人
 野崎武左衛門画像 野崎家塩業歴史館
 塩製道具雛形 野崎家塩業歴史館
 野崎武左衛門遺訓 野崎家塩業歴史館
 太田家屋敷図 個人
 大慶直胤刀剣 個人

7. 歴史・地理学者

古川古松軒自画像 総社市 宅源寺
 古川古松軒神文 個人
 松平定信謁見記 総社市 宅源寺
 御六戦志 桑名市博物館
 齊藤一興画像「近世名家肖像図巻」より 東京国立博物館
 九畹斎韻譜(浦上玉堂序) 岡山県総合文化センター
 蒼松山水図 岡山市 国清寺

8. 画家

浦上玉堂画像 浦上春琴筆 林原美術館
 止仁録 岡山大学附属図書館
 玉堂製琴 正宗文庫
 秋琴筆 山水図 野崎家塩業歴史館
 送別詩画 個人
 伝台山所持琴囊 個人
 黒田綾山画像「近世名家肖像図巻」より 東京国立博物館
 唐美人図 正宗文庫
 小野雲鵬筆 十六羅漢図 倉敷市 宝島寺

9. 工芸家

八木浄慶画像 個人
 虚空蔵菩薩 備前市 大滝山実相院
 金剛界大日如来 備前市 真光寺
 女国重源鍛刀図 個人
 正阿弥勝義画像 林原美術館
 蝶耳菊花瓶 個人
 舞蝶図対花瓶 林原美術館
 ○羽黒神社奉納大太刀 珠追双龍彫 倉敷市 羽黒神社
 風神雷神麟鳳亀龍図堆朱盆 林原美術館
 松竹梅彫刻茶盒 個人

10. 和算家

小野光右衛門肖像画 岡山県立博物館
 小野以正光右衛門手翰 日本学士院
 藤田秀斎起証文 金光図書館
 吉備津神社奉納算額 岡山市 吉備津神社



特別展記念講演会

特別展

奈良国立博物館名品展

平成11年2月13日～3月14日

奈良国立博物館は明治28年帝国奈良博物館として開館、以来一世紀以上にわたり、文化財の保存研究と公開を行ってきた。中でも、仏教に関する文化財の収蔵は充実した内容を誇り、わが国唯一の仏教美術の専門館ともいえる存在である。生涯学習時代を迎えた今日、公開講座・研修などの機会は大幅に増えてはいるが、文化財の鑑賞ということになるとその公開施設に出向き、作品と対面しなければその美しさに触れることはできない。しかしながら国立博物館まで足を運ぶことのできない方や、遠出するような時間のとれない方も現実には多く、国立博物館はまだまだ身近な存在とは言い難いのが現状である。そのような状況で、奈良国立博物館所蔵の名品の数々を岡山県立博物館において公開できたことは、国立博物館がより身近に感じられる絶好の機会となった。会期中の平成11年2月20日に開催した阪田宗彦氏による記念講演会には200名以上の聴講者が集まり、また期間中に行った列品解説会も好評であった。厳しい寒さにも関わらず予想以上に多くの方にご観覧いただき、優れた文化財に対する興味や関心が高いことをあらためて感じた。



重要文化財 獅子像(文殊菩薩像台座)

主な展示作品

- (●は国宝、◎は重要文化財)
- 増壺阿含経 卷第三九 奈良時代
 - 夢窓疎石筆 円覚経偈 南北朝時代
 - ◎白衣観音像 鎌倉時代
 - ◎十二天像 12幅のうち日天・月天 鎌倉時代
 - 法華経曼荼羅 (七幅のうち)第一幅 鎌倉時代
 - 阿弥陀如来像 南北朝時代
 - 三井寺縁起 上巻 室町時代
 - 釈迦如来立像 白鳳時代
 - 観音菩薩立像 奈良時代
 - ◎獅子像 (文殊菩薩像台座) 平安時代
 - 五大明王像 平安時代
 - ◎蔵王権現立像 平安時代
 - ◎釈迦如来立像 (清凉寺釈迦) 鎌倉時代
 - 大黒天立像 鎌倉時代
 - 蔵王権現鏡像 平安時代
 - 千手観音鏡像 平安時代
 - 牛皮華鬘 平安時代
 - 菊牡丹文彩色華鬘 南北朝時代
 - 磬架 鎌倉時代
 - 銭弘倣八万四千塔 中国五代(10世紀)
 - 宝篋印塔 鎌倉時代
 - ◎五鈷四大明王鈴 中国唐時代(8世紀)
 - 五鈷杵 平安時代
 - 金剛盤 平安時代
 - ◎伝福岡県出土品 平安時代 永久4年
 - ◎伝福岡県出土品 平安時代 保延7年
 - 鳥取県智積寺経塚出土泥塔経 鎌倉時代
 - 伝和歌山県上野廃寺出土風鐸 白鳳時代
 - 伝和歌山県上野廃寺出土隅木蓋瓦 白鳳時代
 - 伝滋賀県南滋賀廃寺出土軒丸瓦 白鳳時代
 - 伝福岡県観世音寺出土軒丸瓦 白鳳時代
 - 静岡県三ヶ日町出土瓦塔 奈良時代
 - 伝奈良県平城宮跡出土軒平瓦 奈良時代
 - 伝岡山県備中国分寺出土軒平瓦 奈良時代
 - 伝京都府平等院出土軒丸瓦 平安時代
 - 伝京都府平等院出土軒平瓦 平安時代



特別展記念講演会

企画展

「物語絵の世界」

平成10年4月29日～5月61日

今日では、人から人へ物語絵を見せたり聴かせたりする機会はすっかり少なくなり、幼子に絵本を読み聴かせるくらいがせいぜいとなった。しかし娯楽やさまざまな情報源であるテレビ・雑誌などのメディアがまだまだ未発達であった時代、絵本や絵巻物、絵解きの大画面は、大人から子供までを魅了し楽しませた娯楽であったに違いない。躍動感にあふれた英雄たち、光に包まれた神や仏、血と炎に包まれた亡者、苦難を奇跡的な力で解決する聖人たちの姿、そして不思議と空想に満ちた世界・・・これらに驚き、喜び、感動した先人たちの心に触れてみよう、岡山県下に伝世するさまざまな分野の物語絵を展示公開した。

主な展示資料

(◎は重要文化財、○は県指定重要文化財)

(1) 祖師伝絵の世界<聖人たちの物語>

日蓮聖人一代記絵	牛窓町	本蓮寺
法然上人一代記絵	久米南町	誕生寺
法然上人御誕生絵図	久米南町	誕生寺
弘法大師一代記絵	邑久町	朝日寺

(2) 地獄図・極楽図<仏と来世の物語>

熊野那智参詣曼荼羅	個人
○熊野観心十界曼荼羅図	個人
○熊野権現縁起絵巻	個人
◎十王図	総社市 宝福寺
冥土の旅絵巻	真備町
六道曼荼羅図	作東町 観音寺

(3) 読み本・芝居絵<英雄と不思議の物語>

門満寺縁起絵巻	鴨方町	浄光寺
桃太郎絵巻	個人	
岩屋山縁起絵巻	個人	
版本 源平盛衰記図会	岡山県立博物館	



桃太郎絵巻

企画展

「はこぶ」—運搬具のうつりかわり—

平成10年7月16日～8月23日

人は、物をはこび交流を続け、自らも移動するさまざまな方法を考え出してきた。人や物だけにとどまらず、情報や文化までもはこんでいる。この企画展は、日々新たな交通・情報体系が生まれている現代、「はこぶ」という行為に焦点をあて、身近な生活の中で使われた道具をはじめ、人々との関わりの深い資料を通して、「はこぶ」ことをあらためて歴史的に見つめ直したものである。



展示風景

主な展示資料

(○は県指定重要文化財)

- (1) 力をあわせて—ヨイショ!ヨイショ!—
 松平齐孝入国行列図 津山郷土博物館
 石曳図屏風 兵庫県立歴史博物館
 駕籠 美甘村教育委員会
 因幡橋 上斎原村教育委員会

(2) 暮らしの中で「はこぶ」

広島城下絵屏風(複製)	広島城
飛脚胸当て	岡山県立博物館
御用箱	岡山県立博物館

(3) せおって、かついで—ヨッコラショ!ドッコイショ!—

○唐櫃	個人
○金銅板貼山伏笈	鏡野町 円通寺
箱笈	作東町 薬水寺
おいこ	高梁市郷土資料館
梓荷	岡山県立博物館

(4) 「はこぶ」—ふね・くるま—

絵馬「高瀬舟図」	御津町 素盞鳴神社
呉服配達用荷車	個人・総社市まちかど郷土館保管
牛乳配達車	高梁市郷土資料館

博物館講座

「岡山県の歴史と文化」

本講座は、できるだけ実物資料に触れながら、郷土岡山の歴史と文化を学習するものとして、例年好評を得ている。本年度は60名の募集定員に対して、110名の応募があった。現地見学会は、城下町津山を訪れた。津山郷土博物館を出発点に旧出雲街道を東へ歩き、箕作阮甫旧宅や津山洋学資料館を見学した。

講座内容

開講日	テーマ	講師
5/29 (金)	戦国期の諸相 -日幡城をめぐる戦い-	学芸課主査 上林 栄一
	物語絵の世界 -語り聞かせの絵画-	学芸員 中田利枝子
6/5 (金)	現地見学 「城下町津山を訪ねて」 (津山郷土博物館・津山洋学資料館ほか)	現地講師 本館職員
6/12 (金)	考古学への誘い -高塚銅鐸発掘顛末記-	学芸員 小松原基弘
	時代の変転と工芸	総括学芸員 白井 洋輔
6/19 (金)	山中一揆について	学芸員 木下 浩
	岡山城と後楽園	副館長 加原 耕作



講座風景



展示見学

旧伊木邸間取図	1枚	横山碩致
東大寺瓦	1個	横山碩致
絹本着色 洛中洛外遊楽図屏風	六曲一双	橋本典治
絹本着色 花鳥図	1幀	鈴木富夫
刀 銘備前国住長船源兵衛尉祐定作	1口	高見之孝
脇差	1口	〃
書籍 日本伝統色	1セット	吉田アケノ
儒者菅茶山書幅他	一括	篠井 節
磯崎龍子郎氏旧蔵錦莞蕙関係資料	一式	磯崎家一同
池田照政書状・池田照直書状	1幅	小林和夫
琴	1張	真野 誠
熊野染夜着	1着	〃
書籍	一括	〃
デッチ車 他	一括	伊東水飴工業株式会社
雛人形 他	一括	安東靖雄
矢部榎山・榎堂他	一括	小幡治子
版本 暁斎 談	4冊	〃
トランク	2個	国府照子
須恵器台付裝飾壺 他	一括	島村信義

本年度もたくさんの方から貴重な歴史資料を御寄贈いただきました。その一部を紹介します。

磯崎龍子郎氏旧蔵錦莞蕙関係寄贈資料

本館に寄託され展示にも活用していた磯崎眠亀の錦莞蕙関係の一連の資料を磯崎龍子郎氏のご遺族の方々より御寄贈いただきました。



錦莞蕙 獅子狩文

〈寄贈資料目録〉

錦莞蕙		
牡丹唐獅子文(緑色輪郭)	三畳敷	1点
牡丹唐獅子文(茶色輪郭)	三畳敷	1点
鋸歯文輪郭青海波文	一畳敷	1点
獅子狩文(緑色地)	一畳敷	1点
鋸歯文輪郭角継文	三畳敷	1点
黒花菱輪郭内部蝶文	一畳敷	1点

小幡治子氏寄贈資料

桐輪郭鳳凰文三疊敷	1点
東海富獄図(茶色)一疊敷	1点
如雲 43×56.5cm	1点
ヒ字輪廓内部茶色紗綾形文一疊敷	1点
無地 100×150cm	1点
明治神宮御神座龍鬢莖甲号97×147cm	1点
明治神宮御神座龍鬢莖乙号83×134cm	1点
松島風景織込(緑色)一疊敷	1点
ヒ字黒色三筋輪郭文三疊敷	1点
更紗文 67×132cm	1点
菊・鶴・獅子・坊主文一疊敷	1点
ヒ字輪廓内組紐文一疊敷	1点
茶色地白ぬき牡丹唐獅子文一疊敷	1点
無地一疊敷	1点
蜀紅錦(茶色)一疊敷	1点
蜀紅錦(黒色)一疊敷	1点
専売特許願書 錦莞莖・織機	2通
専売特許証 錦莞莖	1通
錦莞莖明細書	1冊
伺書 物品専売の儀に付伺草稿	1冊
錦莞莖新意匠様本 松の巻	1冊
意匠様本版本	10点
錦莞莖原簿	1冊
明治神宮龍鬢莖注文書	1冊
龍鬢莖模様原器(薄箱入)	1点
紋板	
大	3点
小	16点
紋板原紙	1枚
約定書	1冊
賞状	
コロンブス世界博覧会	
バリ万国博覧会	
第4回内国勸業博覧会	
セントルイス万国博覧会	
大日本帝国褒章之記	各1点 計5点
メダル	
コロンブス世界博覧会	
バリ万国博覧会	
第4回内国勸業博覧会	
セントルイス万国博覧会	
サンフランシスコ太平洋博覧会	
日英博覧会	
大日本帝国褒章	各1点 計7点
花莖輸出端緒葉書	1通
尋常小学読本 巻10	1冊
尋常小学校読本 地理書 巻1	1冊
手提げ袋	1点
籠	1点
煙草入れ	1点
明治神宮神宝記念 大和錦 八重畳ノ端	1点
明治神宮神宝記念 殻織紗 夏ノ御下襲	1点
明治神宮神宝記念 固地綾 冬の御裳	1点
明治神宮神宝記念 大和錦 辛櫃ノ覆	1点
明治神宮神宝記念 大和錦 龍鬢ノ端	1点
平安遷都千百年記念祭招待状	1通
第4回内国勸業博覧会授賞式記念写真(複写)	1葉

大阪府在住の小幡治子氏より、矢部樫山・樫堂の作品および関連資料一括を御寄贈いただきました。矢部樫山は、嘉永2年(1849)玉島に生まれ、幼少より絵を学びました。後年は岡山市に住み、絵を教え、また華道の宗匠として一清軒の号も持つ風流人でした。第三回内国勸業博覧会で一等褒賞をうけたほか、中央の展覧会での入賞も多かったのですが、活躍の地が終生岡山であったためにその名があまり知られていないのが惜しまれます。また、総社市国分寺客殿の襖絵「花合戦」は樫山の代表作で、高い力量を持った画家であったことがわかります。樫堂は、樫山の弟子で、娘婿にあたります。今回寄贈いただいた作品は、樫山・樫堂の習作、自筆絵葉書、絹本の小品をはじめ、掛軸などのほか、樫山・樫堂と交流のあった人の作品や浮世絵など合計140点にのぼる一括資料で、その画業を垣間見ることができます。ご厚意に感謝し有効に活用させていただきます。

〈寄贈資料目録〉

樫山筆	絵葉書 一括
	風景画小品(折本画稿)
	習作類 一括
掛軸	紙本墨画「老松懸月図」
掛軸	絹本著色「武将凱旋之図」
掛軸	絹本著色「草庵図」
掛軸	紙本淡彩「茶摘之図」
掛軸	絹本淡彩「椿之図」
掛軸	絹本著色「虎図」
掛軸	紙本淡彩「秋暮人物図」
掛軸	紙本淡彩「花鳥図」
掛軸	紙本墨画「牡丹図」
樫堂筆	絵葉書 一括
	色紙 「芦に雁図」ほか 一括
	下絵・習作類 一括
	小品 「富士遠望図」ほか一括
掛軸	紙本墨画淡彩「不動明王像」
掛軸	絹本著色「朝日双鶴図」
掛軸	絹本著色「鍾馗図」
掛軸	絹本著色「立雛図」
掛軸	絹本著色「立雛図」
その他、小品・色紙・浮世絵など一括	

「岡山の歴史と美」

— 県立博物館・美術館巡回展 —

県民共有の財産である県立博物館・美術館の歴史資料や美術品を、県内各地で身近に鑑賞し、郷土の文化について、より一層理解を深めていただく展覧会として企画した。今年度は平成10年10月28日から11月9日まで高梁市歴史美術館で開催した。

主な展示資料

資料名の○印は岡山県指定重要文化財

〈考古〉

- 袈裟襷文銅鐸 岡山市兼基出土 弥生時代
三角縁神獸鏡 出土地不明 3世紀
- 石枕 備前市天神山古墳出土 古墳時代

〈美術〉

- 文人諸家貼交屏風 江戸時代
紙本淡彩 備中名所図会 石川晃山筆
慶応3年(1867)

〈文書〉

- 小堀遠州書状 江戸時代初期
備中国新見荘内検帳 寛正7年(1466)
小早川隆景誓詞 天正2年(1574)

〈民俗〉

- 大高・小高檀紙 江戸時代
錦莞蒔 鋸齒文輪郭青海波文 明治20年(1887)

〈刀剣・甲冑〉

- 太刀 正恒 平安末期～鎌倉初期
刀 伝長光 鎌倉末期
刀 清光 室町末期

〈陶磁器〉

- 備前 矢筈水指 桃山時代
備前 緋襷大皿 桃山時代
備前 手付菓子皿 桃山～江戸初期

〈工芸〉

- 螳螂置物 正阿弥勝義作 明治33年(1900)
蜂図銀製大花瓶 正阿弥勝義作 明治38年(1905)
螳螂図茶盒 逸見東洋作 大正9年(1917)

平成11年度事業のお知らせ

○「岡山県の歴史と文化」

春季展 平成11年3月20日(土)～5月30日(日)
(特別陳列「埋蔵文化財速報展」3/20～4/25)

夏季展 平成11年6月5日(土)～8月29日(日)
(特別陳列「岡山の甲冑」6/5～7/4)

秋季展 平成11年9月3日(金)～11月14日(日)
(特別陳列「県重文おかげ参りの図」9/3～10/3)

冬季展 平成11年11月19日(金)
～平成12年1月30日(日)

(特別陳列「国宝 太刀一文字」1/5～1/30)

○企画展「岡山の薬」

平成11年4月29日(木)～5月30日(日)



薬の袋いろいろ

○企画展「岡山の青銅器」

平成11年7月24日(土)～8月29日(日)

○特別展「日本五ヶ伝名刀展」

平成11年10月15日(金)～11月14日(日)

○特別展「岡山城と後樂園」

平成12年2月4日(金)～3月5日(日)

○博物館講座「岡山県の歴史と文化」

平成11年6月11日～7月2日(毎週金曜日)

岡山県立博物館だより No.51

発行日 平成11年3月31日

発行者 岡山県立博物館

館長 平岩 武

岡山市後樂園1-5

☎(086)272-1149